

令和3年度事業報告書

自	令和3年4月1日
至	令和4年3月31日

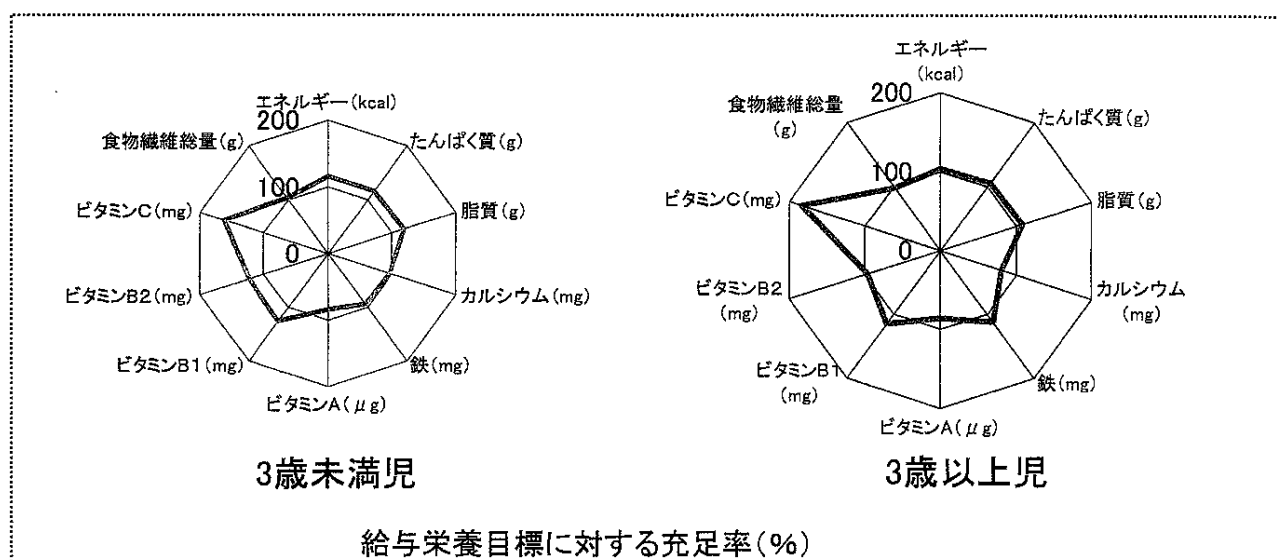
社会福祉法人 こばと会

こばと第一保育園

①栄養管理報告

・ 日本人の食事摂取基準(2020年版)に基づき、お昼は一日全体の1/3量+おやつは一日の15%程度として各栄養素の給与栄養目標量を算出した。

	3歳未満児R3.4~R4.3		3歳以上児R3.4~R4.3	
	給与栄養目標量	平均充足率(%)	給与栄養目標量	平均充足率(%)
エネルギー(kcal)	463	116	574	104
たんぱく質(g)	17.3	116	21.5	106
脂質(g)	15.4	119	19.1	108
カルシウム(mg)	213	97	259	80
鉄(mg)	2.3	95	2.4	112
ビタミンA(μg)	188	85	202	86
ビタミンB ₁ (mg)	0.25	126	0.31	115
ビタミンB ₂ (mg)	0.28	124	0.36	96
ビタミンC(mg)	18	162	18	183
食物繊維総量(g)	3.7	103	4.6	98
炭水化物エネルギー比(%)	55	55	55	54
脂肪エネルギー比(%)	30	31	30	31



- ・ エネルギー、たんぱく質、脂質は、目標量を満たしており、三大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)のバランスはとれている。和食を中心とした献立は三大栄養素のバランスがとりやすいと言われ、引き続き家庭に向けてレシピの紹介等をしていきたい。
- ・ 1歳児クラスでは、おやつに常に牛乳を提供し、カルシウム摂取に努めた。
- ・ カルシウム、鉄を多く含む煮干し粉をみそ汁の時のだし汁に加えるなどした。

② 給食活動全般について

◆食品は出来るだけ無添加の自然食品（調味料など）、国産の生鮮食品を使用し、季節感を大切に旬のものを使った。献立作成では、良質のたんぱく質・カルシウム・ミネラル・食物繊維を含み、生活習慣病予防に良いといわれる和食を多く取り入れた。

◆クラス・給食室の連携のもと、ヒヤリハット含め、食物アレルギーの誤食は発生しなかった。

◆給食会議

・健康センターの地域包括支援事業として地域の親子に向けた食の情報発信について検討メンバーに加わった。子どもの食に関する『よくある質問回答』を給食会議で意見交換した。（吸い食べへの対応・食事時間について・）

・事故防止ガイドラインより…Ⅰ期の1歳クラスは離乳食から移行したばかりの子も多いため、果物のりんごはオレンジに替えて提供する。（0歳クラスまでりんごは加熱する）

・豆まきについて…一昨年、島根県の4歳児が福豆をつまらせる事故が発生した事から、消費者庁がこれまで福豆を『3歳以下には与えない』としていたのを昨年から『5歳以下には与えない』に引き上げた。小さくかみ砕いた豆が気道に入っても危険なため、年少中の豆まきは小さいボール等に代えて行い、年長は袋入りの福豆を使用した。

◆引き渡し訓練では園で備蓄している非常食の他、アレルギー児用の黄色のビブス等を展示した。また幼児クラスの給食では、非常食を利用しておやつにアルファ米のわかめご飯のおにぎりを調理した。

◆個別対応として、歯の治療中のため、前歯でかみちぎる必要があるものを刻み食にする対応を行った。（1歳児・3歳児）クラス対応として、ごはんを棒状のラップお握りにして、一口量や奥歯でかむ事、ずっと噛んで飲み込みまでに時間がかかるなどの課題を持つ子に与える様子もあった。

◆衛生管理…大量調理施設の衛生管理マニュアルに基づき、不顕性感染を防ぐため調理従業者はノロウィルスの検査を11月～2月の間実施し陰性であった。

◆1月20日から1月24日の間、コロナウィルス感染拡大防止のため、休園となった。その間給食の提供も中止となった。25日から一部開園、27日から開園したが、食数は少ない日が続いた。肉、魚、野菜など一部の業者さんには前日キャンセル等対応していただいた。

・その日の献立をサンプル展示した。(夏季は写真) 行事食や食育での子ども達の様子は、写真を掲示し、ホームページに載せて家庭へ伝えた。

・幼児クラスを対象に朝の会などで、季節の食材などをテーマにクラス毎に話をする機会を設けた。クイズやお手伝いを盛り込んだ内容で、後になって子どもたちから声をかけられるなど興味を引き出し、食べる意欲へつなげていった。

・給食室横の畑では、芽キャベツ、里芋、大葉、菜の花などが育ち、乳児クラスの子ども達もよく通る場所で季節の移ろいや野菜を身近に見てもらえる機会になっていた。

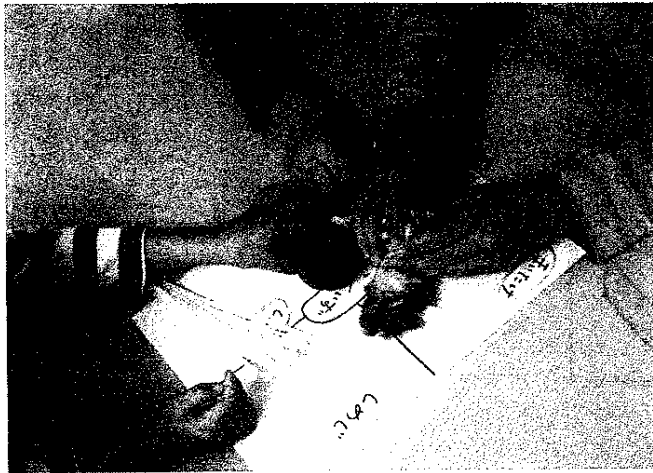


食育【たけのこ】4月

食育【春に美味しい
いろいろなおまめ】5月



食育【秋に美味しい食べ物】10月
給食室で芽が出たさつまいもを見せ、芋掘りにつなげて



食育【きのこクイズ】10月



食育【骨のある魚の食べ方】11月

行事食・食育【七草がゆ】1月



行事食・食育【節分】2月



④アレルギー児への配慮

<1> 令和3年度は、8～10名に対応した。

※ヒヤリハット・誤食は共に発生しなかった。

年齢・・・人数	除去食品
0歳児・・・2名	(卵)1名 (卵・乳)1名
1歳児・・・1名	(乳)1名
2歳児・・・2名	(卵)2名 ※1名は～9月まで
3歳児・・・3名	(乳)2名 (その他)1名
4歳児・・・0名	
5歳児・・・3名	(その他)3名 ※2名は1月～

(その他)・・・ ナッツ類(ピーナッツ・くるみ・アーモンド)・エビ

<2> アレルギー児用の食材を購入し、見た目・味・栄養に配慮した代替食を提供した。

粉ミルク	乳不使用の「ミルフィーHP」
パン	生協の白パン、こだわり酵母食パン(卵・乳不使用)・米パン(小麦粉不使用)
生クリーム	「豆乳ホイップ」
マヨネーズ	「ベジネーズ」(卵不使用のマヨネーズ状ドレッシング)
バター・マーガリン	「A-1マーガリン(乳不使用)」

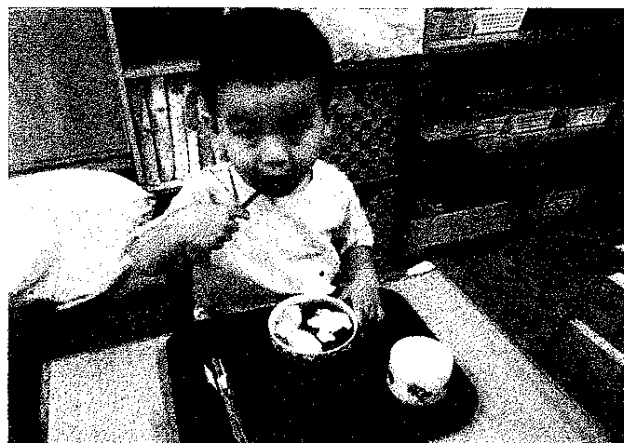
- ・アレルギー児には柄付きの食器・カラートレーを使用する。
- ・1食分ずつ器に盛り付け、ラップにアレルギー児の名前を書いて提供する。
- ・『名前・除去食品』を記した名札に、『除去食がある』『ない』を記したクリップをつける。

<3> 家庭・クラスとの連携、給食室内の確認を大切に取り組んだ。

- ・除去食表の掲示
- ・除去食表を更新する都度、給食会議などでクラスへの伝達を行った。
- ・毎月の献立表に、個人ごとに除去する献立に印をつけ、家庭・クラスへ配布する。
- ・アレルギー児が通院した際には保護者と面接を行い、除去の状況・解除について検討した。
- ・ダブルチェックの徹底・・・給食室内でのチェック・離乳食のチェック・アレルギー『なし』のチェック・ワゴンへのせる際のチェック・クラスとの確認など



アレルギー児 食事の様子



アレルギー児 おやつの様子

令和3年度考察

《病欠状況》

今年度の病欠者は777名であった。昨年度はコロナ禍で4月中旬頃より市から自粛メールが配信され6月頃まで出席率が20～30%台だった。しかし、今年度はコロナ禍2年目ということもあってか、緊急事態宣言が4月下旬から9月中旬まで出ていても出席率は60～90%台だったので、密が増え7月は123名、3月は108名と1年ぶりに100名を上回る病欠者が発症した。(病気統計リストを参照)

原因としては4月下旬から胃腸炎症状での欠席者が目立ち、1週間で10名以上発症したので1年以上ぶりに保健所へ報告。その日からずっとFAXで連絡を取りつつ次亜塩素酸ナトリウム液での消毒を続けたり、流行しているクラスは他クラスとの接触を控えたりしていた。その後、胃腸炎症状での欠席者は減っていたが、6月中旬からRSウイルス感染症が流行し胃腸炎症状の時と同じように消毒や流行しているクラスとの接触を控えた。また、コロナ禍で検査をしてくれる病院が少なく“風邪”と診断され咳をしながら登園してくる子どもも多くいたので、検査をしてくれる病院も紹介していった。そういうこともあり“過去10年間の疾病別病欠状況”を見ていただくと分かるように、今年度は“風邪”での病欠者が多かった。

6月頃からは、感染力が強いデルタ株のコロナが全国的に流行し、こばとでも 8

クラスではマスク保管袋を食事テーブルへ持っていき、食事中だけマスクを外せるように活用した。このように感染対策を出来る限り実施し昨年度同様、登園時の手洗いや手指消毒、送迎者も含む検温や体調管理、換気や環境消毒、幼児クラスでのマスク着用等、実施していたが感染力が強いオミクロン株が発症してからは、その感染を食い止めるのは容易なことではなかった。特に幼児クラスは乳児クラスに比べてマスク着用をしているので、飛沫感染を予防出来るはずなのに3月からは幼児クラスばかりで発症してしまった。ということは一度病原菌が入ってしまうと学級閉鎖等でその波を食い止めないと阻止することは難しいのだということが、改めて感じられた状況であった。

このように今年度も今までにないことを経験した年度である。その度にやり方、方法を主任や保健衛生会議で話し合ったり、紙面で共有認識することで、これだけの病欠者でこれだけの人数ですんだのではないか(過去10年間の病欠状況)と思う一年であった。今後も、こばとに関わる一同で力を合わせて感染予防に努めていき、発症者や重症者が出ないようにすることで病欠者も減らしていけるのではないかとと思われる。

《事故報告》

事故のほうは例年にない結果となった。平成8年から事故統計を取っているが、

93.9%と達成することが出来た。幼児になると急にむし歯経験者が増えるのは例年のことであるが“けんこうノート”で健診結果を伝えると共に、むし歯のある子には治療証明書を出し結果が戻ってこないご家庭には「いい歯の日」に因んで11月に再度証明書を配布している。また年長児へは歯を大切にすることを伝え、今年度は帝京大学講師の申し出から、そちらで作成したDVDを上映するという地域との連携もすることが出来た(右写真参照)。

また保健だよりで保護者へ啓蒙もした。今後もコロナ禍で試行錯誤して、3歳児の「むし歯が無い子 90.0%台」が達成出来るように



していきたいと共に園全体のむし歯経験者率を減らしたい。

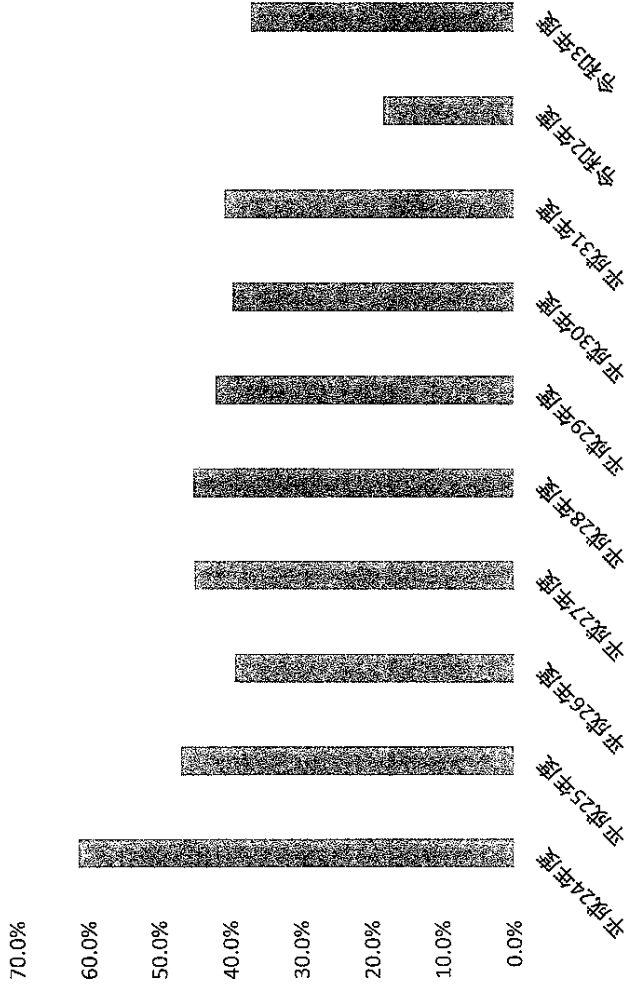
視力検査も昨年度同様、目をかくす検査器具を園児が変わる度に消毒した。検査結果は、視力 1.0 以上だった子が年中児で初めて全国平均を上回り、年少児の検査結果も 5 年ぶりに上向いた(「視力 1.0 以上の子」の表参照)。その結果、全体的にも視力 1.0 以上の子が増えた。昨年度は初めてのコロナ禍で巣ごもりをしてテレビやネット、ゲームなど近くを見る機会が増えてしまったが、今年度は 2 年目。コロナ禍でも出来ることを見つけ、「視力」以外にも「視覚」育てに着眼し途中から実施した。また、注視や追視、外遊びで遠くを見る機会を増やしたり、会話をして言葉を増やしたりなど脳の認知機能を高め、クラス毎に視力を高める方法、

病名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
突発性発疹			1		1							1	3
水痘												1	1
流行性耳下腺炎		1											1
手足口病		1	1							1			3
頭ジラミ					1								1
溶連菌感染症													0
インフルエンザ													0
アデノウイルス感染症													0
かぜ症候群	18	10	21	50	27	5	25	25	20	6	8	34	249
扁桃腺炎												1	1
肺炎													0
喘息											1	1	2
伝染性膿痂疹(とびひ)							1		1				2
虫刺され													0
蕁麻疹									1				1
いぼ													0
外傷	2		1						1	1			5
麦粒腫(ものもらい)	1												1
中耳炎		2		2	1	2		2					9
アレルギー性鼻炎											1		1
副鼻腔炎												1	1
鼻血				1							1		2
花粉症												2	2
下痢	6		8	1	2	1	1	6	8	1		2	36
嘔吐	4	6	1	1		1	1	1	3	1		3	22
便秘													0
腹痛	2	1				1		1				1	6
感染性胃腸炎	1	3	2					2	4	2	2	6	22
頭痛	1						1			1			3
尿路感染症											1		1
膀胱炎										1			1
骨のひび	1												1
体調不良		1	1	3		1		3	1	1	2	3	16
用心して								1					1
通院	3		2			2	3	3		2	2	2	19
入院		1	1			1	1		1		1		6
発熱	10	4	35	37	23	12	16	21	7	12	10	18	205
下痢・嘔吐		1	1	1			1		1				5
咳	3	2	2		1	3	4	6	2	1	4	4	32
RSウイルス			8	27									35
胃腸炎	8	5	6					1	3				23
新型コロナウイルス										8	9	12	29
新型コロナウイルス濃厚接触者						3				6	9	11	29
全計													777
合計	60	38	91	123	59	29	54	72	53	44	51	103	777

過去10年間の病欠状況

病欠者	在籍者	年度別病欠者率
24年度	1453	197 平成24年度 61.5%
25年度	1124	199 平成25年度 47.1%
26年度	928	196 平成26年度 39.5%
27年度	1077	199 平成27年度 45.1%
28年度	1048	193 平成28年度 45.3%
29年度	972	192 平成29年度 42.2%
30年度	905	190 平成30年度 39.7%
31年度	936	191 平成31年度 40.8%
令和2年度	417	189 令和2年度 18.4%
令和3年度	777	174 令和3年度 37.2%

年度別病欠者率



過去10年間の疾病別病欠状況

病名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度
突発性発疹	7	10	2	8	7	7	9	3	15	3
水痘	12	10	18	4	6	4	1	2	2	1
流行性耳下腺炎	4		5	2	2	5	1	2	2	1
伝染性紅斑(りんご病)	1			7			3	1		
ヘルパンギーナ	12	9	14	3	6	17	8			
手足口病	2	13	2	53	4	38		32		3
プール熱(咽頭結膜熱)		2	3	3	4	2	1	17	1	
溶連菌感染症	23	2	14	21	34	49	30	24	3	
百日咳								3		
インフルエンザ	58	62	45	46	40	59	71	41		
アデノウイルス感染症	1	6		7	2	9	2	17	1	
反復性耳下腺炎	4	1	1	1				1		
頭じらみ						1				1
かぜ症候群	103	117	99	81	105	106	124	119	120	249
気管支炎	9	1	5	5	6	1	1	4		
クループ症候群(気管支炎)									1	
扁桃腺炎	2	2	2	3	1	1		1		1
肺炎	9	4	0	3	1		2	2		
喘息	16	15	10	16	4	8	2	5	3	2
クループ		1	2		1					
アトピー性皮膚炎	1									
伝染性膿痂疹(とびひ)	8	6	5	4	1	4	4	4	3	2
虫刺され									1	
水疱					1				1	
じんましん	5	6	3	3	1	2	2	3	1	1
火傷	1	3			6	1				
外傷	5	3	4	1	5	5	4	2	4	5
結膜炎	11	17	4	6		12	8	3	1	
麦粒腫(ものもらい)	1	1	2	1		1				1
流行性角結膜炎	1	1	1		3	4	1			
中耳炎	15	14	8	8	9	11	11	9	6	9
外耳炎	3									
アレルギー性鼻炎										1
副鼻腔炎		1			1		1		2	1
鼻血	1			1	1	1				2
花粉症		1								2
ヘルペス	4	1	1	1	2					
歯痛	1			1	1					
下痢	63	40	43	46	49	37	46	36	17	36
嘔吐	59	33	32	25	54	19	12	22	5	22

令和3年度考察

《病欠状況》

今年度の病欠者は777名であった。昨年度はコロナ禍で4月中旬頃より市から自粛メールが配信され6月頃まで出席率が20～30%台だった。しかし、今年度はコロナ禍2年目ということもあってか、緊急事態宣言が4月下旬から9月中旬まで出ていても出席率は60～90%台だったので、密が増え7月は123名、3月は108名と1年ぶりに100名を上回る病欠者が発症した。(病気統計リストを参照)

原因としては4月下旬から胃腸炎症状での欠席者が目立ち、1週間で10名以上発症したので1年以上ぶりに保健所へ報告。その日からずっとFAXで連絡を取りつつ次亜塩素酸ナトリウム液での消毒を続けたり、流行しているクラスは他クラスとの接触を控えたりしていた。その後、胃腸炎症状での欠席者は減っていたが、6月中旬からRSウイルス感染症が流行し胃腸炎症状の時と同じように消毒や流行しているクラスとの接触を控えた。また、コロナ禍で検査をしてくれる病院が少なく“風邪”と診断され咳をしながら登園してくる子どもも多くいたので、検査をしてくれる病院も紹介していった。そういうこともあり“過去10年間の疾病別病欠状況”を見ていただくと分かるように、今年度は“風邪”での病欠者が多かった。

6月頃からは、感染力が強いデルタ株のコロナが全国的に流行し、こぼとでも 8

クラスではマスク保管袋を食事テーブルへ持っていき、食事中だけマスクを外せるように活用した。このように感染対策を出来る限り実施し昨年度同様、登園時の手洗いや手指消毒、送迎者も含む検温や体調管理、換気や環境消毒、幼児クラスでのマスク着用等、実施していたが感染力が強いオミクロン株が発症してからは、その感染を食い止めるのは容易なことではなかった。特に幼児クラスは乳児クラスに比べてマスク着用をしているので、飛沫感染を予防出来るはずなのに3月からは幼児クラスばかりで発症してしまった。ということは一度病原菌が入ってしまうと学級閉鎖等でその波を食い止めないと阻止することは難しいのだということが、改めて感じられた状況であった。

このように今年度も今までにないことを経験した年度である。その度にやり方、方法を主任や保健衛生会議で話し合ったり、紙面で共有認識することで、これだけの病欠者でこれだけの人数ですんだのではないか(過去 10 年間の病欠状況)と思う一年であった。今後も、こばとに関わる一同で力を合わせて感染予防に努めていき、発症者や重症者が出ないようにすることで病欠者も減らしていけるのではないかとと思われる。

《事故報告》

事故のほうは例年にない結果となった。平成8年から事故統計を取っているが、

どがある。今年度も2件の捻挫と1件の骨折が起きてしまった。全て3件は年長児の事故であり、全体でも9件と一番多かった。昨年度もⅢ期が一番多かった。日々遊んでいるうちに自信がつきドッジボールやサッカー、鬼ごっこのような競技になると「勝ちたい」という気持ちが先走ってしまうのかと思うが、ルールを決め危険な行為が目立つ時は、一度止めさせたり、人数制限をしたり等することも大切だと話し合った。また年長になってからボールを扱うのではなく、その前からボールをとったり投げたり蹴ったりなどボールに慣れ親しもうとも話し合った。来年度もボール遊びはするので、このことは課題としていきたい。

以上のように、体幹を鍛えることで「視覚」も育つこと、ルールを共有すること、ボールに慣れ親しませること等、職員一同で工夫を凝らして保育することによって、大きな怪我を減らしていきたい。またそのような保育をすることで転んだ時に踏ん張れる力も育ち、今年度も多かった口の怪我が減るのではないかと思われる。来年度は、Ⅲ期の怪我が減るよう保健会議を使って、話し合い事故報告者が減るよう気を付けていきたい。

《発達》

昨年度同様に今年度も毎月使用する身体測定表にカウプ指数の表を貼り、太り気味や太りすぎ、痩せ気味や痩せすぎの子への食事配慮を伝え、クラス職員へ

93.9%と達成することが出来た。幼児になると急にむし歯経験者が増えるのは例年のことであるが“けんこうノート”で健診結果を伝えると共に、むし歯のある子には治療証明書を出し結果が戻ってこないご家庭には「いい歯の日」に因んで11月に再度証明書を配布している。また年長児へは歯を大切にすることを伝え、今年度は帝京大学講師の申し出から、そちらで作成したDVDを上映するという地域との連携もすることが出来た(右写真参照)。

また保健だよりで保護者へ啓蒙もした。

今後もコロナ禍で試行錯誤して、3歳児の「むし歯が無い子 90.0%台」が達成出来るように



していききたいと共に園全体のむし歯経験者率を減らしたい。

視力検査も昨年度同様、目をかくす検査器具を園児が変わる度に消毒した。検査結果は、視力 1.0 以上だった子が年中児で初めて全国平均を上回り、年少児の検査結果も 5 年ぶりに上向いた(「視力 1.0 以上の子」の表参照)。その結果、全体的にも視力 1.0 以上の子が増えた。昨年度は初めてのコロナ禍で巣ごもりをしてテレビやネット、ゲームなど近くを見る機会が増えてしまったが、今年度は 2 年目。コロナ禍でも出来ることを見つけ、「視力」以外にも「視覚」育てに着眼し途中から実施した。また、注視や追視、外遊びで遠くを見る機会を増やしたり、会話をして言葉を増やしたりなど脳の認知機能を高め、クラス毎に視力を高める方法、

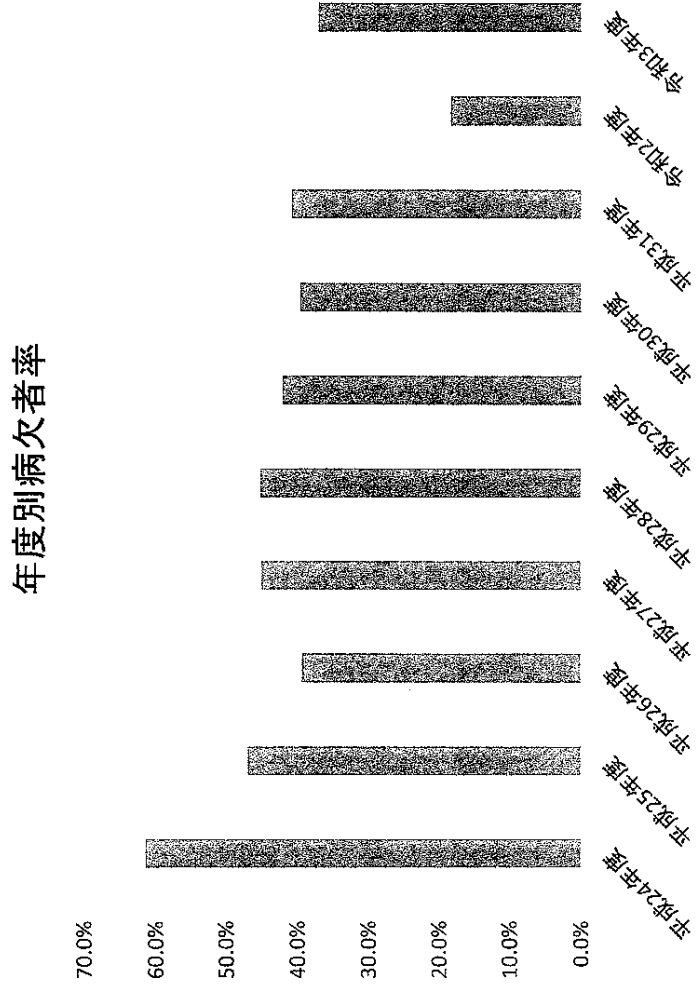
病名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
突発性発疹			1		1							1	3
水痘												1	1
流行性耳下腺炎		1											1
手足口病		1	1							1			3
頭ジラミ					1								1
溶連菌感染症													0
インフルエンザ													0
アデノウイルス感染症													0
かぜ症候群	18	10	21	50	27	5	25	25	20	6	8	34	249
扁桃腺炎												1	1
肺炎													0
喘息											1	1	2
伝染性膿痂疹(とびひ)							1		1				2
虫刺され													0
蕁麻疹									1				1
いぼ													0
外傷	2		1						1	1			5
麦粒腫(ものもらい)	1												1
中耳炎		2		2	1	2		2					9
アレルギー性鼻炎											1		1
副鼻腔炎												1	1
鼻血				1							1		2
花粉症												2	2
下痢	6		8	1	2	1	1	6	8	1		2	36
嘔吐	4	6	1	1		1	1	1	3	1		3	22
便秘													0
腹痛	2	1				1		1				1	6
感染性胃腸炎	1	3	2					2	4	2	2	6	22
頭痛	1						1			1			3
尿路感染症											1		1
膀胱炎										1			1
骨のひび	1												1
体調不良		1	1	3		1		3	1	1	2	3	16
用心して								1					1
通院	3		2			2	3	3		2	2	2	19
入院		1	1			1	1		1		1		6
発熱	10	4	35	37	23	12	16	21	7	12	10	18	205
下痢・嘔吐		1	1	1			1		1				5
咳	3	2	2		1	3	4	6	2	1	4	4	32
RSウイルス			8	27									35
胃腸炎	8	5	6					1	3				23
新型コロナウイルス										8	9	12	29
新型コロナウイルス濃厚接触者					3					6	9	11	29
全計													777
合計	60	38	91	123	59	29	54	72	53	44	51	103	777

令和3年度年齢別病欠状況

病名	0歳			1歳			2歳			3歳			4歳			5歳			合計	
	4~7月	8~11月	12~3月	4~7月	8~11月	12~3月	4~7月	8~11月	12~3月	4~7月	8~11月	12~3月	4~7月	8~11月	12~3月	4~7月	8~11月	12~3月		
	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計		
突発性発疹	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
水痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑(りんご病)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
頭シラミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
溶連菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かぜ症候群	7	9	7	23	44	21	21	15	12	11	38	12	16	11	39	14	12	7	33	249
扁桃腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
喘息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
毒麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
外傷	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
麦粒腫(ものもらい)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中耳炎	0	1	0	1	2	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
アレルギー性鼻炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
副鼻腔炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
鼻血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
花粉症	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
下痢	2	3	2	7	10	5	6	2	1	2	5	0	1	1	2	1	1	1	1	36
嘔吐	0	0	0	0	0	0	4	10	5	0	6	1	2	0	3	0	1	2	2	22
腹痛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
感染性胃腸炎	0	2	2	4	1	0	8	9	2	0	3	2	0	1	3	0	0	1	1	22
頭痛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
尿路感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
膀胱炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
骨のひび	1	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
体調不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
用心して	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
通院	1	0	0	1	2	0	0	0	0	2	0	1	1	2	4	1	0	2	3	19
入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
発熱	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	4	0	0	1	4	3	0	3	0	19
下痢・嘔吐	4	1	0	9	33	23	7	63	26	16	61	12	14	9	35	8	11	4	23	205
咳嗽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
RS	1	0	0	1	1	0	1	1	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	5
胃腸炎	3	0	0	3	14	0	0	7	11	0	11	2	0	0	2	3	0	0	3	4
新型コロナウイルス	3	0	0	3	4	1	0	5	5	0	6	2	0	1	3	4	0	0	4	23
新型コロナウイルス濃厚接触者	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	6	0	0	3	3	0	0	7	7	29
合計	24	18	19	61	120	55	59	234	71	43	165	38	39	46	123	39	33	30	102	777

過去10年間の病欠状況

病欠者	在籍者	年度別病欠者率
24年度	1453	平成24年度 197 61.5%
25年度	1124	平成25年度 199 47.1%
26年度	928	平成26年度 196 39.5%
27年度	1077	平成27年度 199 45.1%
28年度	1048	平成28年度 193 45.3%
29年度	972	平成29年度 192 42.2%
30年度	905	平成30年度 190 39.7%
31年度	936	平成31年度 191 40.8%
令和2年度	417	令和2年度 189 18.4%
令和3年度	777	令和3年度 174 37.2%



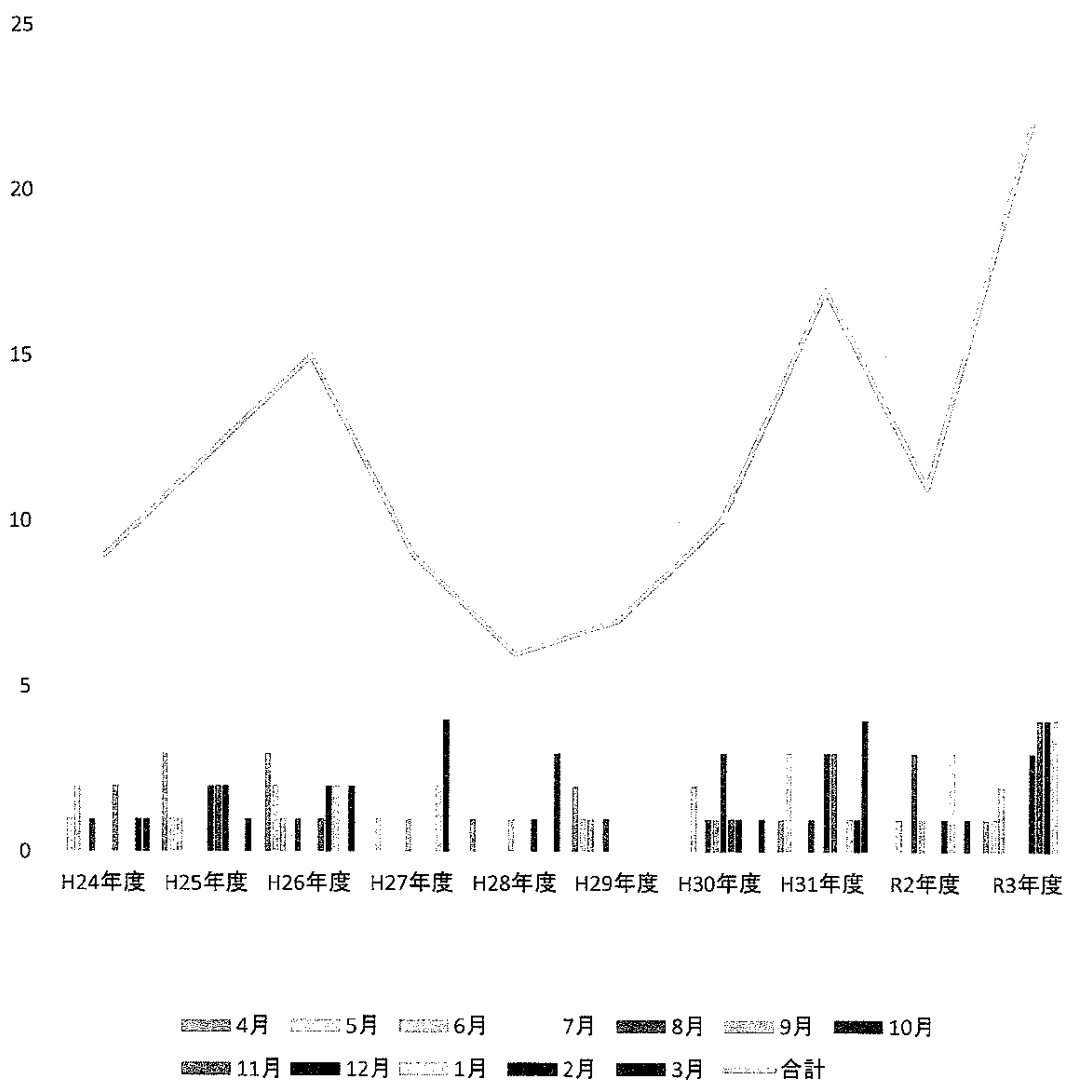
過去10年間の疾病別病欠状況

病名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度
突発性発疹	7	10	2	8	7	7	9	3	15	3
水痘	12	10	18	4	6	4	1	2	2	1
流行性耳下腺炎	4		5	2	2	5	1	2	2	1
伝染性紅斑(りんご病)	1			7			3	1		
ヘルパンギーナ	12	9	14	3	6	17	8			
手足口病	2	13	2	53	4	38		32		3
プール熱(咽頭結膜熱)		2	3	3	4	2	1	17	1	
溶連菌感染症	23	2	14	21	34	49	30	24	3	
百日咳								3		
インフルエンザ	58	62	45	46	40	59	71	41		
アデノウイルス感染症	1	6		7	2	9	2	17	1	
反復性耳下腺炎	4	1	1	1				1		
頭じらみ						1				1
かぜ症候群	103	117	99	81	105	106	124	119	120	249
気管支炎	9	1	5	5	6	1	1	4		
クループ症候群(気管支炎)									1	
扁桃腺炎	2	2	2	3	1	1		1		1
肺炎	9	4	0	3	1		2	2		
喘息	16	15	10	16	4	8	2	5	3	2
クループ		1	2		1					
アトピー性皮膚炎	1									
伝染性膿痂疹(とびひ)	8	6	5	4	1	4	4	4	3	2
虫刺され									1	
水疱					1				1	
じんましん	5	6	3	3	1	2	2	3	1	1
火傷	1	3			6	1				
外傷	5	3	4	1	5	5	4	2	4	5
結膜炎	11	17	4	6		12	8	3	1	
麦粒腫(ものもらい)	1	1	2	1		1				1
流行性角結膜炎	1	1	1		3	4	1			
中耳炎	15	14	8	8	9	11	11	9	6	9
外耳炎	3									
アレルギー性鼻炎										1
副鼻腔炎		1			1		1		2	1
鼻血	1			1	1	1				2
花粉症		1								2
ヘルペス	4	1	1	1	2					
歯痛	1			1	1					
下痢	63	40	43	46	49	37	46	36	17	36
嘔吐	59	33	32	25	54	19	12	22	5	22

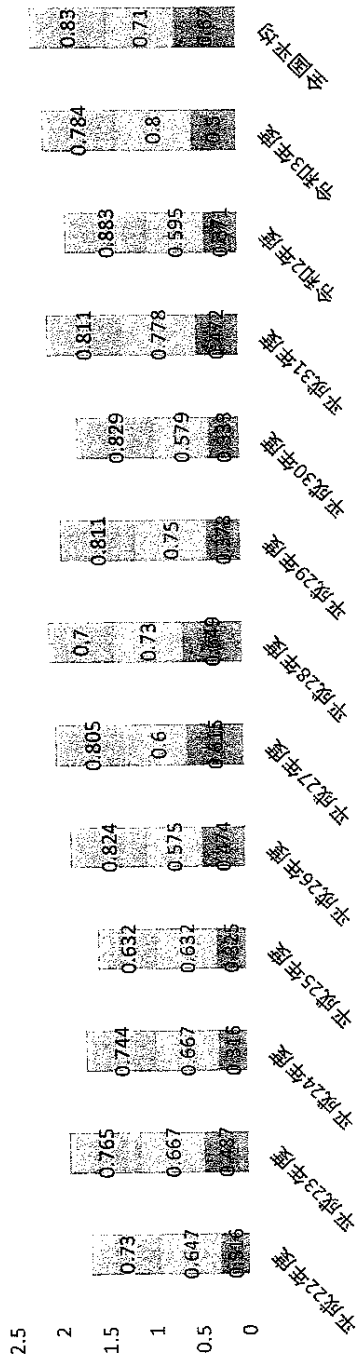
過去10年間の月別事故件数

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
4月	0	3	3	0	1	2	0	1	0	1
5月	1	1	2	1	0	1	0	3	0	1
6月	2	1	1	0	0	1	2	0	1	2
7月	1	0	1	1	0	2	0	0	1	3
8月	1	0	1	0	0	1	1	1	3	0
9月	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0
10月	0	2	0	0	0	0	3	3	0	3
11月	2	2	1	0	0	0	1	3	0	4
12月	0	2	2	0	1	0	1	0	1	4
1月	0	0	2	2	0	0	0	1	3	4
2月	1	0	0	4	0	0	0	1	0	0
3月	1	1	2	0	3	0	1	4	1	0
合計	9	12	15	9	6	7	10	17	11	22

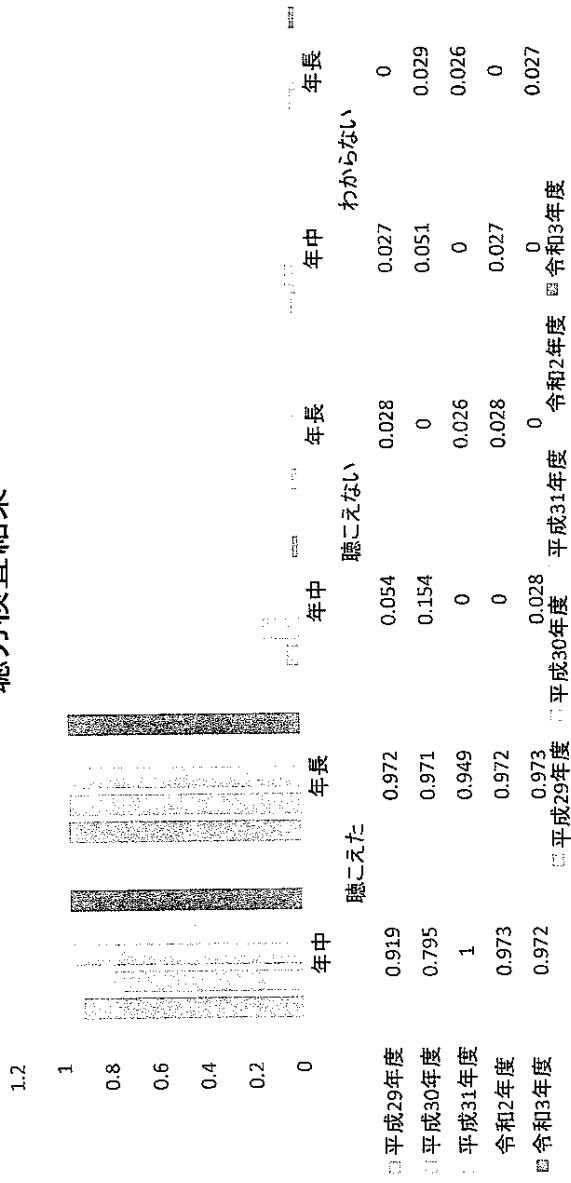
過去10年間の月別事故件数



視力1.0以上の子



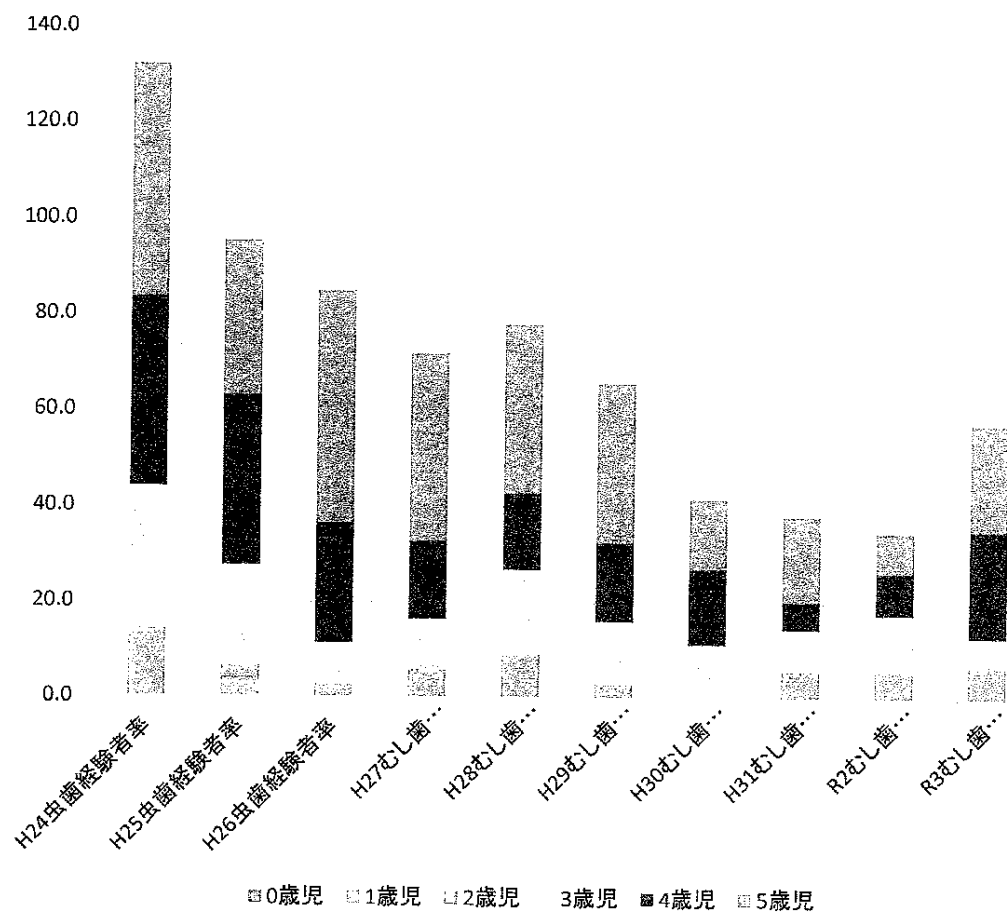
聴力検査結果



過去10年間のむし歯経験者率

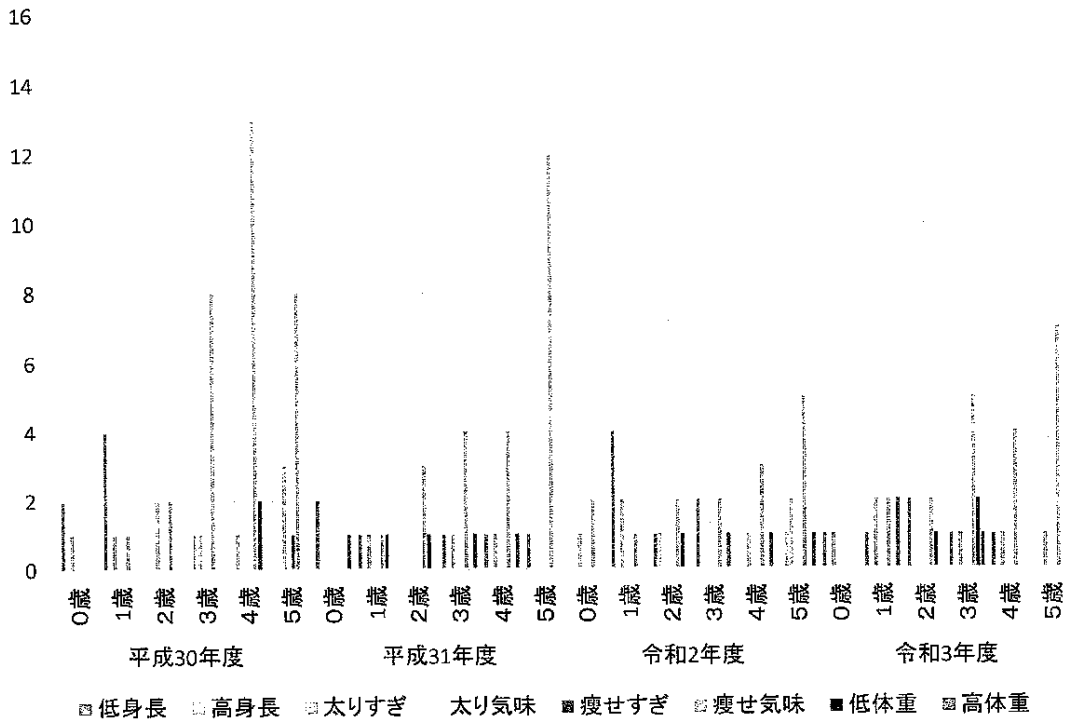
クラス	H24虫 歯経験者率	H25虫 歯経験者率	H26虫 歯経験者率	H27むし 歯 経験者率	H28むし 歯 経験者率	H29むし 歯 経験者率	H30むし 歯 経験者率	H31むし 歯 経験者率	R2むし 歯 経験者率	R3むし 歯 経験者率
0歳児	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳児	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
2歳児	14.3	2.7	2.8	5.9	9.1	2.9	0.0	5.7	5.7	6.7
3歳児	29.7	21.1	8.6	10.5	17.6	13.2	11.1	8.8	11.8	6.1
4歳児	39.5	35.3	25.0	16.2	15.8	16.2	15.8	5.6	8.6	22.2
5歳児	48.6	32.4	48.5	39.0	35.3	33.3	14.7	17.9	8.6	22.2

過去10年間のむし歯経験者率



		低身長	高身長	太りすぎ	太り気味	痩せすぎ	痩せ気味	低体重	高体重
平成30年度	0歳	2	0	1	4	0	0	0	0
	1歳	4	0	1	15	0	1	0	0
	2歳	0	0	2	8	0	2	0	0
	3歳	0	1	1	3	0	8	0	0
	4歳	0	1	0	0	0	13	2	0
平成31年度	0歳	2	0	0	7	0	0	0	1
	1歳	1	0	1	12	0	1	1	0
	2歳	0	0	0	9	0	3	1	0
	3歳	1	0	1	8	0	4	0	1
	4歳	1	0	1	4	0	4	0	1
令和2年度	0歳	0	0	1	6	0	2	0	0
	1歳	4	0	2	14	0	1	0	0
	2歳	1	1	0	10	0	2	1	0
	3歳	2	0	0	3	0	2	0	1
	4歳	0	0	1	8	0	3	0	1
令和3年度	0歳	0	1	2	8	0	5	0	1
	0歳	1	0	1	4	0	0	0	0
	1歳	1	0	2	15	0	2	0	2
	2歳	2	0	0	10	0	2	1	0
	3歳	1	0	1	4	0	5	2	1
4歳	1	0	1	7	0	4	0	0	
5歳	0	0	1	7	0	7	0	0	

グラフタイトル



	0歳				1歳				2歳				3歳				4歳				5歳			
	身長		その差		身長		その差		身長		その差		身長		その差		身長		その差		身長		その差	
	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差
30年度	67.6	78.5	10.9	77.9	86.4	8.4	87.5	94.8	7.4	96.0	102.3	6.3	102.5	108.3	5.8	108	113.6	5.7	108	113.6	5.7	108	113.6	5.7
31年度	67.5	78.8	11.3	78.1	87.2	9.1	87.5	95.0	7.5	95.5	102.2	6.7	103.6	110.2	6.7	108.8	114.7	5.9	108.8	114.7	5.9	108.8	114.7	5.9
令和2年度	70.0	81.3	11.3	77.4	86.5	9.1	87.6	95.4	7.7	95.9	102.9	7.0	102.8	108.9	6.1	111.4	117.5	6.1	111.4	117.5	6.1	109.3	115.3	5.9
3年度	68.7	80.1	11.4	80.1	88.2	8.1	87.0	94.4	7.3	95.8	102.4	6.5	103.2	109.5	6.3	109.3	115.3	5.9	109.3	115.3	5.9	109.3	115.3	5.9

	0歳				1歳				2歳				3歳				4歳				5歳							
	身長		その差		身長		その差		身長		その差		身長		その差		身長		その差		身長		その差		身長		その差	
	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	4月	3月	その差	
30年度	7.9	10.6	2.7	10.4	12.5	2.1	12.7	14.4	1.8	14.5	16.2	1.8	15.6	17.4	1.8	17.8	20.1	2.3	17.8	20.1	2.3	17.8	20.1	2.3	17.8	20.1	2.3	
31年度	7.9	10.7	2.8	10.5	12.6	2.1	12.6	14.4	1.8	14.5	16.5	1.9	16.7	18.9	2.2	17.5	19.8	2.3	17.5	19.8	2.3	17.5	19.8	2.3	17.5	19.8	2.3	
令和2年度	8.5	11.1	2.6	10.4	12.6	2.2	12.8	14.6	1.8	14.7	16.7	2.0	16.8	18.9	2.1	19.5	22.1	2.6	19.5	22.1	2.6	19.5	22.1	2.6	19.5	22.1	2.6	
3年度	8.3	11.1	2.8	10.9	13.1	2.2	12.6	14.3	1.7	14.8	16.6	1.8	16.8	19.0	2.2	18.9	21.0	2.2	18.9	21.0	2.2	18.9	21.0	2.2	18.9	21.0	2.2	

年間身長伸び率

